

第11回 夏季大学「新しい気象学」教室開講のお知らせ

——学校における気象教育特集——

主催：日本気象学会：東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁内 (03-212-8341 代表)

後援：気象庁・東京都教育委員会・日本地学教育学会・地人書館

昨年開催し好評を得ました「新しい気象学」を本年も開催します。

この講座は新しい気象学の普及をめざし、主として小・中・高校の地学・理科担当教師を目標として行なうものですから、特に教職にある方の多数のご参加を希望いたします。

記

期 日 昭和52年7月26日(火) 12時より7月29日(金) 16時まで

場 所 東京都千代田区大手町 1-3-4
気象庁講堂
但し、台風来しゅう時には講堂の使用が不能になりますので、会場を他に変更することもあります。

対 象 小・中・高校の理科担当教師および気象愛好者を主体とし、その他学生および一般の希望者。

受講料 一般 3,600円, 教員 3,300円, 気象学会員・日本地学教育学会会員 3,000円, 学生 2,800円

申込先 東京都千代田区大手町 1-3-4

申込期限 気象庁内 日本気象学会事務局に

昭和52年7月20日までに申込みのこと
次頁の様式の申込用紙に記入の上、受講料を添え、現金書留にて昭和52年7月15日まで事務局宛申込みのこと、参加決定次第受講表をお送りします。但し、定員に達し次第締切ります。

特 典 受講者には講義全内容の講義録を無料配布します。全講義終了後、受講者には受講証を交付し、全講義出席者には日本気象学会入会の資格および入会金の免除、学会出版物についての便宜をはかります。

講義録 地方在住者など本講義に出席できず、講義録のみ希望される方は学会事務局あて必要部数を申込んで下さい。1部1,000円、申込みのあった方に対しては、事務局で代金受取次第、8月上旬に講義録を発送します。なお、刊行部数が少ないので予約制をとります。希望者はできるだけ早めに申込んで下さい。申込み締切は7月15日。

月 日	午前 (10.00~12.00)	午後 (13.30~16.00)
7月26日(火)		人工衛星 土屋 清 (宇宙開発事業団) 静止気象衛星 山下 洋 (気象衛星センター)
7月27日(水)	高低気圧の構造と天気図 矢花 和一 (気象大学校)	高層天気図(実習) 矢花 和一 (気象大学校)
7月28日(木)	大気境界層の気象 島 貫 陸 (東京学芸大学)	微気象・小気候の観測と資料整理(含実習) 原島 宏昌 (八王子市立八王子第4中学校)
7月29日(金)	理科教育の中の気象(パネルディスカッション) 伊藤 久雄 (都立教育研究所地学研究室) 吉野 孝 (渋谷区立常磐松小学校) 蒔田真一郎 (渋谷区立松濤中学校) 三 芳 瑛 (都立東村山高校)	気象庁見学 映画

第11回 夏期大学「新しい気象学」教室受講申込書

東京都千代田区大手町1の3の4 (〒100)

日本気象学会事務局 御中

第11回 夏期大学の受講を希望いたしますので、受講料を添えて申込みます。

昭和52年 月 日

氏 名	年 齢	歳	職 業
自 宅 住 所	電 ()		
勤 務 先	電 ()		
所 属 学 会			

◎ 申込期日は7月15日までですが、定員をオーバーした場合は申込みをお断りすることがあります。

----- 切り取り線 -----

松永賞贈呈候補者の推薦募集

松永記念科学振興財団より、当学会理事長あてに松永賞贈呈候補者の推薦依頼がありました。推薦を希望する会員は所定の推薦書を、1977年5月末日までに担当理事立平良三(〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁予報課)までお送り下さい。推薦書用紙は学会事務局で保管しておりますので御請求下さい。松永賞の贈呈実施要領は下記のとおりです。

なお、当学会への推薦依頼は1名ですので、複数の申込みがあった場合は学会理事長が選考いたします。

記

昭和52年度松永賞贈呈実施要項

1. 本年度の当財団の科学研究に対する褒賞「松永賞」は、社会科学および自然科学系統の基礎的研究で、学

術上の業績が特に顕著であると認められるものを対象とする。個人研究でも共同研究でもさしつかえない。

2. 「松永賞」の受贈者は大学に在職し、昭和7年12月1日以後出生の少壮有為な科学者中から求める。

3. 「松永賞」は1口150万円とし、本年度は社会科学部門1名自然科学部門3名を予定する。

4. 松永賞の選考は、学・協会長に候補者の推薦を依頼し、その推薦を受けた者について、当財団の審査規程に従い、審査委員会が行ない、理事会において決定する。

5. 前に松永賞候補者として推薦し選考にもれた者でも、重ねて候補者として推薦することができる。